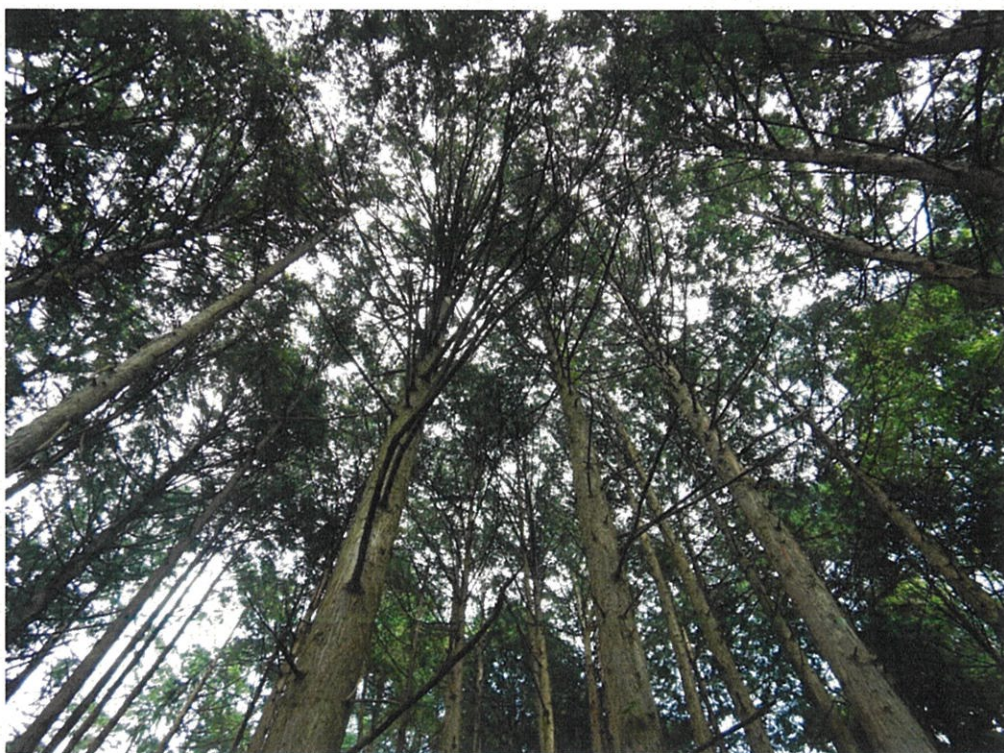


令和7年度

緑の活動だより



山梨県・(公財)山梨県緑化推進機構・緑の少年隊山梨県連盟

■緑の活動だよりについて

「緑の活動だより」は、県内の緑の少年隊及び緑化活動に取り組む青少年団体の日々の優れた活動内容を広く紹介することで、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動の充実を図るとともに、活動への理解を深めることを目的として作成しました。

令和7年度は、中北、峡東、富士・東部の3地区において、優れた緑化活動を実施している団体を1つ選定し、その活動状況を紹介します。

緑の少年隊及び緑化活動を行う青少年団体の指導者をはじめ関係者の皆さまに、日頃の活動の参考にいただければ幸いです。

また、緑化活動を進めるうえで、「活動できるフィールド(森林)を探している。」、「森林体験活動を企画・運営できる専門家を紹介してほしい。」などの要望がありましたら、緑の少年隊山梨県連盟事務局へご相談いただけるようお願いいたします。

■緑の活動の表彰について

山梨県、(公財)山梨県緑化推進機構及び緑の少年隊山梨県連盟では、毎年度、県内において優れた緑化活動を実施している緑の少年隊及び青少年団体を表彰しています。

今回、3地区から選定された団体について審査したところ、次のとおり表彰することとなりました。

【優秀賞】(公益財団法人山梨県緑化推進機構会長賞)

菱山小 緑の少年少女隊

【優良賞】(緑の少年隊山梨県連盟会長賞)

明野小 緑の少年少女隊

丹波小 緑の少年少女隊

なお、優秀賞を受賞した「菱山小 緑の少年少女隊」については、(公社)国土緑化推進機構が表彰する令和8年度みどりの奨励賞に推薦します。

令和7年度に推薦した「都留文大附属小 緑の少年少女隊」は、みどりの奨励賞(優良賞)を受賞しました。

※「みどりの奨励賞」

(公社)国土緑化推進機構は、次の世代を担う青少年の緑化活動の中核的な活動を行っている優れた緑の少年団を「みどりの奨励賞」として表彰しています。このうち、国土緑化推進機構理事長賞の受賞団体(5団体程度)は、全国育樹祭の併催行事である全国緑の少年団活動発表大会に参加し、発表を行うこととなります。

■目次

◇各隊の活動紹介 （緑の活動調書）

・【中北地区】

明野小 緑の少年少女隊 P 3

・【峡東地区】

菱山小 緑の少年少女隊 P 7

・【富士・東部地区】

丹波小 緑の少年少女隊 P 12





明野小 緑の少年少女隊 【中北地区】

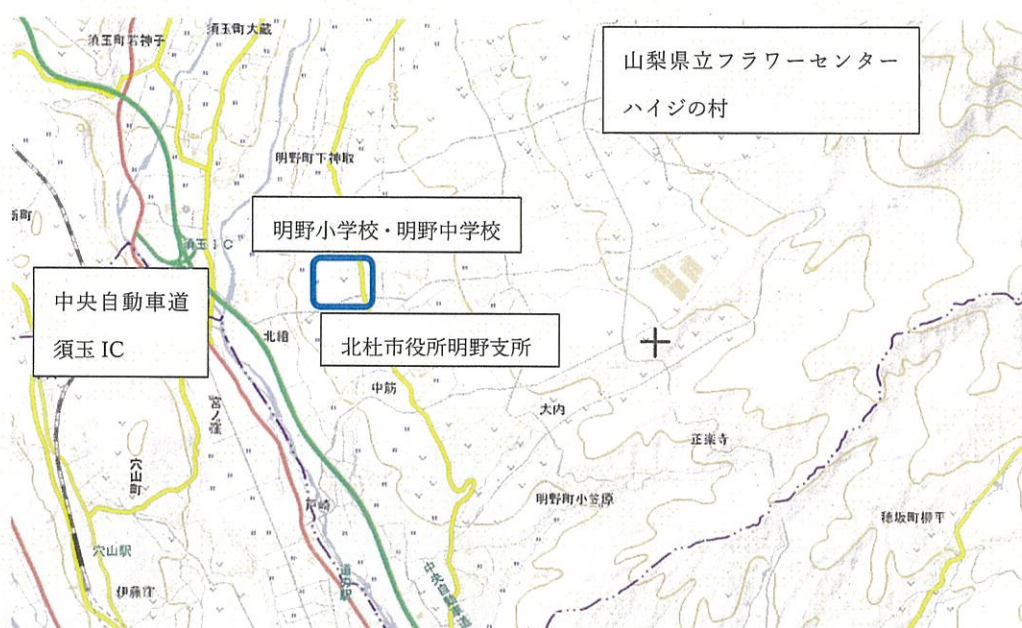
■ 隊の概要

○所在地：北杜市立明野小学校 北杜市明野町上手 8 4 1 8

○結成日：平成 6 年 4 月 1 日

○隊員数：5 1 名

○主な活動場所：学校内、明野町内(通学路など)



「標準地図（国土地理院）」を加工して作成



令和7年度 緑の活動調書

(都道府県名 : 山梨県)

1	フリガナ 団の名称	アケノショウミドリ ショウネンショウジョタイ 明野小緑の少年少女隊														
2	所在地	〒408-0204 TEL 0551-25-2101 山梨県北杜市明野町上手8418														
3	フリガナ 代表者名	タザワ ケン 田沢 憲	4 結成年月日	H 6 年 4 月 1 日												
5	団員数	男27名、女24名	6 年 令	11才～12才 平均11才												
7	組織の単位	学校単位	8 育成会	有： 人 (無)												
9	最近1年間の会費等	(a) 団員1人当り年会費 0円 (b) 助成金等 90,000 円														
10	団の活動目的	・身近な明野町や北杜市全体の自然学習を通して、環境緑化への理解と関心を深める。 ・児童の緑化意識の啓発の一環として、校地内の草取りや花壇等の整備、花、樹木等の手入れを行うなどして、緑化推進と環境教育の推進を図る。														
11	団の活動状況(最近1年間の活動)	(1) 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ふるさとウォーク</td> <td>10月</td> <td>27名</td> <td>6年生(事前学習とあわせて2回実施)</td> </tr> <tr> <td>②自然観察</td> <td>10月</td> <td>24名</td> <td>5年生(事前学習とあわせて2回実施)</td> </tr> </tbody> </table> ①ふるさとウォークにおける環境学習 6年生の学習の一環として、町内の歴史、文化財、自然観察、企業訪問等の学習を行います。自然の学習では、身近な木々の種類などについて観察したり、森林が保持されている現状について考えたりする機会にしています。    ②林間学校における自然観察 5年生の校外学習では、北杜市の森や川、生き物などの観察や学習を通して、自然環境の大切さに目を向け、環境を保持していくための実践力の育成を目指しています。   			種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①ふるさとウォーク	10月	27名	6年生(事前学習とあわせて2回実施)	②自然観察	10月	24名	5年生(事前学習とあわせて2回実施)
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考													
①ふるさとウォーク	10月	27名	6年生(事前学習とあわせて2回実施)													
②自然観察	10月	24名	5年生(事前学習とあわせて2回実施)													

11 団の活動状況（最近1年間の活動）

(2) 地域貢献活動

種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考
①春の植苗活動	5月	10名	5. 6年生
②町内一斉清掃	6月	21名	全校児童有志（内団員数）
③環境美化作業	7月	51名	全校児童（内団員数）
④秋の植苗活動	10月	10名	5. 6年生

①学校内での花苗植え（5月）

学校内では、福祉・栽培委員会が中心となり、プランターや花壇に季節の花を植え、水やり当番を行いながら、心を込めて育てています。季節の花を植えることで、花への興味・関心を持ち、いきものを育てることの大切さも学びます。
春は、ガザニア24株、ペコニア24株、マリーゴールド24株、ナデシコ24株、サルビア24株、カリブラコア48株を植えました。



②町内一斉清掃（6月）

6月の休日の朝を利用して、児童、保護者、地域の方が一堂に会し、町内一斉清掃を実施します。子供たちと保護者は、主に毎日通っている通学路のごみ拾い等を行い、環境保全についての関心を深め、実践する力を育成します。

③環境美化作業（7月）

7月の朝活動において、全校児童と教職員による校舎内外の美化活動を行います。校舎敷地内のごみ拾いや校庭の草取り、草刈り等を行い、環境美化に対する意識を高めることを目的として行われます。



④学校内での花苗植え（10月）

学校内では、福祉・栽培委員会が中心となり、プランターや花壇に季節の花を植え、水やり当番を行いながら、心を込めて育てています。季節の花を植えることで、花への興味・関心を持ち、いきものを育てることの大切さも学びます。
秋は、パンジー95株、ビオラ96株を植えました。



11 団の活動状況（最近1年間の活動）

(4) 活動状況総括表

種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況	
学 習	地 域 貢 献	レ ク リ エ シ ヨ ン	計	I	II	III	IV	計	一 回 参 加 数 団 員 の 平 均	一 回 参 加 率 団 員 の 平 均
				4月	7月	10月	1月			
				5月	8月	11月	2月			
4回	4回	0回	8回	2回	1回	5回	0回	8回	24人	47%

記載上の注意

- ① 団員の平均1回参加数
各種別参加者数の合計を活動回数の合計で除したもの。
この参加者は団員に限り育成会員などは含まないこと。
- ② 団員の平均1回参加率
団員の平均1回参加数を団員数で除したもの。
団員数が1年間で著しく変動したときは平均的団員数で除すること。

12 地域社会における貢献度（含む地域の評価）

校内の活動では、1年を通して玄関前に並べられたプランターや花壇の花を育てることで、来客や保護者、地域の方々など学校を訪れた方々の目を楽しませることができた。
また、地域清掃では、町内の通学路を中心とした美化活動により、地域の方からも一定の評価をいただいた。

13 将来のビジョン等（含む拡充計画）

令和7年度と同様に活動を継続させていく予定である。
毎年行っている地域清掃においては、団員だけでなく全校児童にも声をかけ、参加率を上げていきたい。また、地域のふるさとウォーキングや林間学校などの学習の機会を継続し、環境保全について考える機会としていきたい。



菱山小 緑の少年少女隊 【峡東地区】

■ 隊の概要

○所在地：甲州市立菱山小学校 甲州市勝沼町菱山 1 0 6 6

○結成日：平成 5 年 4 月 1 日

○隊員数：3 4 名

○主な活動場所：学校内、菱山財産区有林、勝沼町内（勝沼ぶどう郷駅）



「標準地図（国土地理院）」を加工して作成



(様式2)

令和7年度 緑の活動調書

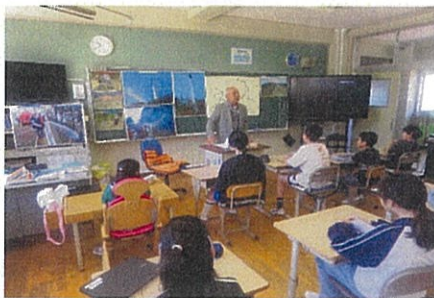
(都道府県名 : 山梨県)

1	フリガナ 団の名称	ヒシヤマショウミドリ ショウネンショウジョタイ 菱山小緑の少年少女隊																										
2	所在地	〒409-1302 TEL0553-44-0528 山梨県甲州市勝沼町菱山1066																										
3	フリガナ 代表者名	ミヅモリ トシヒコ 三森 敏彦	4 結成年月日	H 5年 4月 1日																								
5	団員数	男17名、女17名	6 年 令	9才~12才 平均10才																								
7	組織の単位	小学校単位	8 育成会	有： 人 (無)																								
9	最近1年間の 会費等	(a) 団員1人当り年会費 0円 (b) 助成金等 290,000円																										
10	団の活動 目 的	菱山小緑の少年少女隊の活動は、次代を担う子どもたちの地域を愛する「心」と豊かな環境を育む「主体的な態度」の育成を主な目的とする。 第一に、植林などの活動を通じて、自然や緑の働きを深く理解し、環境保全の意識を育む。郷土の緑を愛し、守り育てる知識と実践力を身につけさせる。 第二に、駅舎清掃などの奉仕活動や集団での作業を通じて、社会の一員としての責任感、協調性、そして公共の福祉に貢献する精神を養う。 最終的には、これらの活動を通じて、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、将来、心豊かで自立した社会の担い手として活躍できる人間を育てることを目指す。																										
11	団の活動状 況(最近1 年間の活 動)	(1) 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学習</td> <td>令和7年4月16日</td> <td>19名</td> <td>植林活動事前学習</td> </tr> <tr> <td>②地域貢献</td> <td>令和7年4月22日</td> <td>15名</td> <td>植林活動</td> </tr> <tr> <td>③地域貢献</td> <td>令和7年5月26日</td> <td>23名</td> <td>勝沼ぶどう郷駅の駅舎清掃</td> </tr> <tr> <td>④学習と レクリエーション</td> <td>令和7年9月22日</td> <td>15名</td> <td>北海道ながめま緑の少年団との交流会</td> </tr> <tr> <td>⑤学習</td> <td>通年 2回</td> <td>延べ34名</td> <td>花育活動</td> </tr> </tbody> </table>			種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①学習	令和7年4月16日	19名	植林活動事前学習	②地域貢献	令和7年4月22日	15名	植林活動	③地域貢献	令和7年5月26日	23名	勝沼ぶどう郷駅の駅舎清掃	④学習と レクリエーション	令和7年9月22日	15名	北海道ながめま緑の少年団との交流会	⑤学習	通年 2回	延べ34名	花育活動
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考																									
①学習	令和7年4月16日	19名	植林活動事前学習																									
②地域貢献	令和7年4月22日	15名	植林活動																									
③地域貢献	令和7年5月26日	23名	勝沼ぶどう郷駅の駅舎清掃																									
④学習と レクリエーション	令和7年9月22日	15名	北海道ながめま緑の少年団との交流会																									
⑤学習	通年 2回	延べ34名	花育活動																									

11 団の活動状況（最近1年間の活動）

①植林活動事前学習

植林活動に先立ち、財産区および峡東林務環境事務所の担当者を講師として招へいし、植林の意義と具体的な方法に関する事前研修を実施した。特に、過去の山火事の事例に関する講話を通じて、植林の重要性について認識を深めることができた。



②植林活動

植林作業は、地域の菱山財産区、菱山小学校PTA、勝沼・大和ライオンズクラブの皆様と協働で実施した。菱山小緑の少年少女隊の活動では最大のもので地域の大人との協働活動になっている。長年にわたり継続している本活動において、今年度はヒノキの苗木300本の植栽を行うことができた。



③勝沼ぶどう郷駅の駅舎清掃

緑の少年隊は、地域社会への貢献と美化意識の向上を目的に、地域の無人駅にて環境整備活動を継続的に実施している。この清掃活動は、駅的环境維持を担う恒例行事として位置づけられており、毎年、春季と秋季の二回にわたり定期的な実施されている。隊員一同、利用者が快適に駅を利用できる環境を維持するため、積極的に活動に取り組んでいる。



④北海道ながめま緑の少年団との交流会

来県したながめま緑の少年団と交流会を実施した。木育ワークショップを一緒に
行い、輪切りの独楽づくり、枝を利用した鉛筆づくり、イタダリの笛づくり、経木
の種トンボづくりなどの活動で交流を深めることができた。その後、相互の活動内
容を紹介する時間を持つことで、隊員間の親睦と相互理解を深めることができた。
ながめま緑の少年団が、学校単位ではなく、幅広い年齢層と広い地域から構成され
ているという運営形式を知り、緑の少年少女隊の多様性についても認識を深めるこ
とができた。



⑤花育活動

花育活動は、植物の育成や手入れを通して、命あるものを大切にする心や、自然
の美しさに気づく豊かな感性を醸成することを目的とし、年間を通じて、花の苗植
えや水やりを行っている。花のあふれる学校は、子どもたちの心の安定にも寄与
し、環境教育の一環としても重要な役割をになっている。



11 団の活動状況（最近1年間の活動）

(4) 活動状況総括表

種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況	
学 習	地 域 貢 献	レ ク リ エ シ ョ ン	計	I 4月 5 6月	II 7月 5 9月	III 10月 5 12月	IV 1月 5 3月	計	一 回 参 加 数 の 平 均	一 回 参 加 率 の 平 均
3回	2回	1回	6回	3回	1回	1回	1回	6回	18人	53%

記載上の注意

- ① 団員の平均1回参加数
各種別参加者数の合計を活動回数の合計で除したもの。
この参加者は団員に限り育成会員などは含まないこと。
- ② 団員の平均1回参加率
団員の平均1回参加数を団員数で除したもの。
団員数が1年間で著しく変動したときは平均的団員数で除すること。

12 地域社会における貢献度（含む地域の評価）

菱山小学校の緑の少年少女隊は、地域に根差した活動を通じて大きな社会貢献を果たしている。
まず、駅舎清掃は、公共の場を清潔に保ち、利用者に快適な環境を提供する奉仕活動である。この活動は、地域全体の美観と公共意識の向上に直接的に貢献している。
また、地元の財産区と共同で行う植林活動は、未来の地域資源である「緑」を守り育てる重要な取り組みである。子どもたちは植樹を体験することで環境保全意識を深めるだけでなく、世代間の連携を学ぶ場ともなっている。参加した大人からは、「自分が小学生だった頃と同じように、今の児童たちと汗を流しました。植林は世代を超えた地域貢献であり、同じ体験を共有できる大切な活動だと思う」と世代を超えて受け継がれるこの活動の価値を高く評価されている。
これらの活動を通じて、少年少女隊は、単なる環境教育に留まらず、地域社会の活力と郷土愛を育む力となっている。児童の継続的な奉仕活動は、地域づくりに不可欠な貢献と言える。

13 将来のビジョン等（含む拡充計画）

本校では、緑の少年少女隊の参加児童に対して、植林や駅舎清掃などの活動をベースに、地域社会に貢献する多様な活動を自ら企画・実行できるよう指導していく。
今後はさらに、SDGsや環境に関する学びを深める「環境学習」に力を入れて活動の幅を広げるとともに、地域の育成会などと連携し、児童が課題の発見から解決までを主体的に担う活動へと発展させていくことを目指す。
これらの取り組みを積み重ねることで、児童が郷土を愛し、奉仕の精神を育み、将来は持続可能な地域社会を牽引する「地域未来リーダー」として活躍できる人材へと成長することを、隊の最終的な目標としている。



丹波小 緑の少年少女隊 【富士・東部地区】

■ 隊の概要

○所在地：丹波山村立丹波小学校 北都留郡丹波山村 2 7 7 7

○結成日：平成 1 1 年 4 月 1 日

○隊員数：1 8 名

○主な活動場所：学校内、丹波山村内（丹波川）



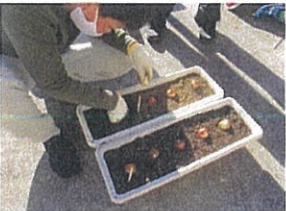
「標準地図（国土地理院）」を加工して作成



(様式2)

令和 7 年度 緑 の 活 動 調 書

(都道府県名 : 山梨県)

1	フリガナ 団の名称	タンバ ショウドリ ショウネンショウジョウ 丹波小緑の少年少女隊																						
2	所在地	〒409-0304 TEL 0428-88-0251 山梨県北都留郡丹波山村2777																						
3	フリガナ 代表者名	ミヤガワ マコト 宮川 真	4 結成年月日	平成11年 4月1日																				
5	団員数	男10名、女8名	6 年 令	6才～12才 平均 9才																				
7	組織の単位	学校単位	8 育 成 会	有： ☐ 無： ☒																				
9	最近1年間の会費等	(a) 団員1人当り年会費 0円 (b) 助成金等 65,000円																						
10	団の活動目的	緑豊かな丹波山村の自然を愛し、人を愛し、また、自ら社会を愛し、互いに力を合わせて自主的に活動することを目的とする。																						
11	団の活動状況(最近1年間の活動)	(1) 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①マイタケ栽培</td> <td>5月～11月</td> <td>18名</td> <td>1年～6年</td> </tr> <tr> <td>②花いっぱい運動</td> <td>12月～3月</td> <td>18名</td> <td>1年～6年</td> </tr> </tbody> </table> ①マイタケ栽培 丹波小学校では、丹波山村の名産である舞茸の観察を通して、地域の自然や食文化について学びます。舞茸の特徴や成長の様子を調べることで、きのこへの理解や親しみを深めることができます。    ②花いっぱい運動 花いっぱい運動では、児童がチューリップの球根を植え、日々の水やりや観察を通して、花が咲くまでの過程を体験します。自分たちの手で花を育てることで、自然への関心や生命を大切にする心を育てる活動です。    (2) 地域貢献活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①丹波川清掃</td> <td>9月</td> <td>18名</td> <td>1年～6年</td> </tr> </tbody> </table> ①丹波川清掃 丹波川清掃は丹波山村を流れる丹波川のゴミを拾い、きれいな自然環境を守るための活動です。この活動を通して、川がきれいであることの大切や、自然を守ることが自分たちの生活にもつながっていることを学びます。   			種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①マイタケ栽培	5月～11月	18名	1年～6年	②花いっぱい運動	12月～3月	18名	1年～6年	種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①丹波川清掃	9月	18名	1年～6年
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考																					
①マイタケ栽培	5月～11月	18名	1年～6年																					
②花いっぱい運動	12月～3月	18名	1年～6年																					
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考																					
①丹波川清掃	9月	18名	1年～6年																					

11 団の活動状況 (最近1年間の活動)	(4) 活動状況総括表										
	種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況	
	学 習	地 域 貢 献	レ ク リ エ シ ョ ン	計	I 4月 5 6月	II 7月 5 9月	III 10月 5 12月	IV 1月 5 3月	計	団員の平均 一回参加数	団員の平均 一回参加率
	7回	1回	0回	8回	3回	3回	1回	1回	8回	18人	100%
記載上の注意 ① 団員の平均1回参加数 各種別参加者数の合計を活動回数の合計で除したもの。 この参加者は団員に限り育成会員などは含まないこと。 ② 団員の平均1回参加率 団員の平均1回参加数を団員数で除したもの。 団員数が1年間で著しく変動したときは平均的団員数で除すること。											
12 地域社会における貢献度 (含地域)	全校児童18名と少人数ではあるが、一人一人が地域貢献活動の目的と意義をしっかりと理解し、主体的に取り組むことができた。地域清掃活動では、丹波川清掃の美化に努め、自然を大切にする意識を高めるとともに、地域住民からも高い評価を得た。児童一人一人の行動が地域社会への確かな貢献につながっている。										
13 将来のビジョン等 (含む拡充計画)	令和7年度と同様に、今後も継続して活動を行っていく予定である。活動の規模や回数は大きくないものの、一つひとつの取り組みを大切に、地球の自然や環境を守る意義を次世代に繋げていくことを目指す。今後も、地域環境の改善に少しではあるが貢献していきたい。										



お問い合わせ先

■公益財団法人山梨県緑化推進機構 事務局

〒400-0031 甲府市丸の内 1 - 5 - 4 恩賜林記念館内

TEL : 0 5 5 - 2 2 6 - 6 2 7 9 FAX : 0 5 5 - 2 2 6 - 6 2 9 1

担当：依田・高橋

